



- ながら運転罰則強化 ○新幹線西九州ルートフル規格実現 ○IR 対策と収益活用（子育て支援等） ○県庁跡地活用
- 観光振興 ○活魚を用いた海鮮市場設立 ○消防団の充実促進 ○長崎県広報活動の充実 ○電線地中化（景観と災害対策）
- V・ファーレン長崎の支援とスタジアム構想支援

IR※・観光振興対策特別委員会

◎IR 対策 ◎観光振興対策 ◎国際戦略

※IR 統合型リゾートとは・・・国際会議場などのMICE施設、ホテル、商業施設、レストラン、劇場、映画館、アミューズメントパーク、スポーツ施設、温浴施設など一体になった複合観光集客施設のこと。(Wikipediaより抜粋)



©ハウステンボス/J-19421

◎IR 対策

要望 ギャンブル依存症対策や周辺地域の治安対策への取組みは必須項目。懸念される項目に対し、適切な対応策を整備し、県民の皆様へしっかり説明してほしい。また、カジノ事業で得た収益（GGR）についても「子育て支援」など地域にとって有益な事業費予算として活用していただきたい。

◎観光振興対策

要望 本県ではヒルトンホテルをはじめ、数件ハイレベルなホテルの建設を予定しているが、より高い付加価値を提供できる観光資源の磨き上げと、マーケティング分析に伴った「更なる富裕層」をターゲットとした宿泊施設の建設誘致の検討を行ってほしい。

◎国際戦略

要望 観光県である長崎はインバウンド観光客の収益性向上は重要。地元経済に収益が見込まれるよう、クルーズ客周遊、および県産品の購入につながる「導線」づくりの確立に尽力いただきたい。また、観光資源の多言語解説や Wi-Fi 環境の整備の充実、広報戦略として SNS 情報発信等進めてほしい。

なぜ、各委員会に分かれるのか？ 県の仕事は、非常に幅が広く複雑になっており、これらを専門的に効率よく審査、調査するために常任・特別委員会が設けられています。

しもじょう ひろふみ
長崎県政へ熱い 下条 博文 事務所
 想いを届けます。
 〒852-8131 TEL: 095-844-7769
 長崎市文教町5-17 FAX: 095-844-6278
 WEB | <http://shimojo007.com> 下条博文 検索

下条博文 公式アプリ

ダウンロードは無料です
 アプリだけの情報も配信しております！
 活動の様子や行事のお知らせ、各種資料をご覧いただけます。

App Store
 GET IT ON Google Play

+PLUS 想いをつなぐ。

下条 博文 県政レポート
 Vol.09【2020年春号】

長崎県議会
 委員会活動報告



■総務委員会

◎警察本部 ◎新幹線西九州ルート ◎IR 対策 ◎県庁跡地活用 ◎サイバーセキュリティ ◎災害対策 ◎観光振興・長崎ブランド振興・インバウンド対策ほか

■IR・観光振興対策特別委員会

◎IR 対策 ◎観光振興対策 ◎国際戦略

長崎県議会議員（自由民主党）長崎市選出
 しもじょう ひろふみ

下条 博文

2019年4月
 ~2020年2月

2020年から5G*サービス開始。安全の確保は？

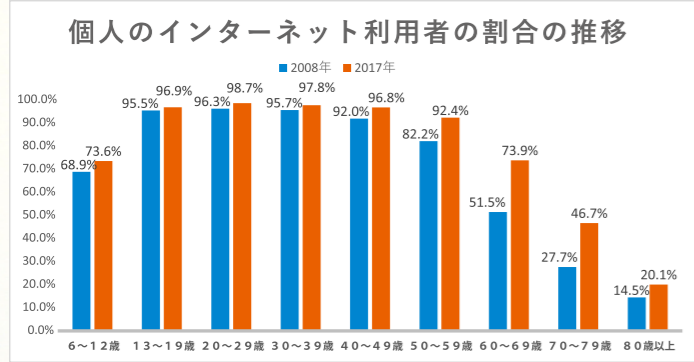
※5Gとは・・・第5世代移動通信システムのこと。2020年から日本国内でサービス開始予定。
特徴は、「超高速化」「超多数同時接続」「超低遅延」の3点。規格外の情報量を瞬時に送信できるシステム。

01. サイバー空間のセキュリティ・安全性

→ 警察本部

◎ICT利活用の進展

総務省サイバーセキュリティタスクフォース
IoT・5Gセキュリティ総合対より抜粋



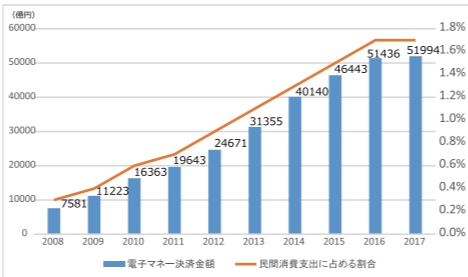
【背景】ICT（Information and Communications Technology：情報通信技術）によって、我が国の社会・経済は大きく変革を遂げてきた。人々の日々のコミュニケーションや情報収集、企業活動、購買行動、就労、余暇など、社会・経済のあらゆる場面でICTの利活用が浸透している。2020年（令和2年）に5Gサービスが本格的に開始。この流れは今後も加速していくことが想定される。

平成30年版 情報通信白書のポイント 代表的なFinTechサービスより抜粋 総務省「平成30年版情報通信白書のポイント」より抜粋
※FinTech（フィンテック）とは・・・金融（Finance）と技術（Technology）を組合せた造語。ITを活用した金融、決済、財務サービス。

区別	業態	分野・提供機能	代表的なFinTechサービスの例
業務	銀行	預金・資産管理	・PFM(Personal Financial Management)、バーチャルバンク
		融資	・P2P融資、ソーシャルレンディング、クラウドファンディング
	カード	決済	・モバイル決済、オンライン決済、モバイルPOS、自動支払
		送金	・オンライン決済、P3P送金
インフラ	証券	投資・資産運用	・ロボアドバイザー、オンライン証券・FP(Financial planner)
		業務支援	・ビッグデータ分析、セキュリティ、クラウド型会計・労務サービス
		通貨・決済ネットワーク	・仮想通貨決済・取引所、非中央集権型取引(ブロックチェーン)

電子マネー決済額の推移

(出典) 日本銀行「電子マネー係数」を元に作成



サイバーセキュリティリスクの増大や脅威の深刻化！

社会・経済全体のあらゆる場面でICT利活用が浸透してきた。同時にサイバーセキュリティリスクも増大している。

質問 1. サイバー犯罪の状況 / 2. 県警本部の体制と対応 / 3. 長崎県立大学との連携

ご答弁 サイバー空間の安全性確保は最重要課題と認識している。令和元年からサイバー犯罪対策課を新設しハッキングやフィッシングなど悪質行為の取締りに力を入れる。

情報セキュリティ学科とIT企業
23年春、専門人材を育成

県立大に共同研究センター

福島第一原発、2号機デブリ取り

要望 長崎はサイバーセキュリティ先進県！ 優位性を最大限に生かす！

全国でも特色ある県立大学の情報セキュリティ学科の促進支援を望むとともに、県警や県情報政策課においても連携の充実を図り双方のスキルアップ相乗効果を求めたい。また、2020年には長崎大学・情報データ科学部も新設する。長崎県における新産業開発・企業誘致等の強力なフラッグシップとなることを期待し支援していきたい。



写真左：2019年12月3日 長崎新聞掲載 県立大学情報セキュリティ学科とIT企業による共同研究センター設立と学科定員の増加 / 写真上：県立大学報セキュリティ学科の充実した設備

まだ未開発。ユニバーサルツーリズム*の可能性

※ユニバーサルツーリズムとは・・・すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行サービスのこと。

02. ユニバーサルツーリズムの促進

→ 文化観光国際部

ユニバーサルツーリズム
ワンストップ窓口検討

来年度、県庁や長崎空港に

費用がかかるバリアフリー設備がなくても人的介助によって旅行サービスが提供できることがポイント

県警「交通特別取締班」

質問 1. 本県ユニバーサルツーリズム（以下UTと略）の現状 / 2. UTの可能性など

ご答弁 障がいのあるなしに関わらず本県観光を楽しんでいただきたいし、ニーズもある。バリアフリー設備の充実を図るとともに人的支援（介助）によるツーリズム実施に可能性を感じている。

要望 県として、意欲のある企業・団体と連携して県内周遊ができるUT体制を作ってほしい。県庁や空港新設される長崎駅などUTワンストップ窓口設置はご利用者にとって大変便利な窓口になるはず。

03. 災害対策本部と災害時避難所の充実

→ 危機管理監

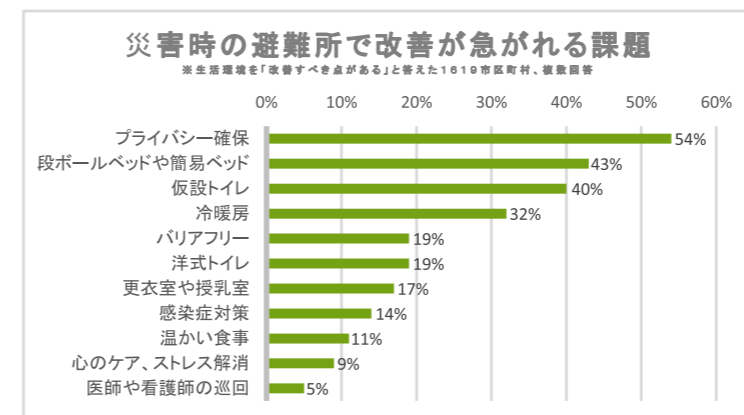
質問 1. 災害対策本部・医療班との連携充実 / 2. 避難所の空調設備設置について

ご答弁 災害時に医療班との連携は不可欠。今後とも、連携充実を図っていく。また、避難所の整備についても、関係各位の皆様とともに今後検討していく。

要望 医療班との情報共有は最優先事項なので、連携充実をお願いしたい。また、台風・豪雨災害は気温が高い時期に発生することが多く、二次被害防止の観点からも避難所の空調設備設置の検討を願う。

災害の避難所、改善必要は95% 「プライバシー課題」が半数

共同通信・Yahoo! ニュース 2/16(日) 6:02 配信



災害時の避難所を巡り、市区町村の95%は改善が必要とし、このうち半数は「プライバシーの確保」が課題と考えていることが15日、共同通信の全国自治体アンケートで分かった。多くの自治体は段ボールベッドや仮設トイレ、冷暖房の配備も重要とした。劣悪さが指摘される避難所の質向上は急務との認識を示す一方で、予算やノウハウの不足から対応に苦慮している。国や都道府県の支援に加え、近隣自治体との連携強化が求められそうだ。

アンケートは昨年11月～今年1月に実施。1741全市区町村の98%、1699が応じた。